

3. 第1回 風景街道検討委員会 議事内容

日時：平成23年5月26日（木）10:00～

場所：松江商工会議所

■議事次第

1. 開催あいさつ 湖水街道推進会議 座長 三代隆司

2. 出席者紹介

3. 風景街道検討委員会の設置
 - (1) 風景街道検討委員会設置要綱

 - (2) 風景街道検討委員会の構成

 - (3) 委員長の選出
(互選) 島根大学教育学部 准教授 作野広和氏

 - (4) 委員長あいさつ

4. 第1回 風景街道検討委員会
 - (1) これまでの湖水街道推進会議の活動について

 - (2) 心の旅先・神在りの国：出雲神話周遊ルートについて
 - ①調査及びルート設定の経緯
 - ②ガイドブック（案）について
 - ③アドバイザーからのコメント
 - ④意見交換

 - (3) 湖水街道推進会議の今後の活動について

 - (4) 全体を通しての意見交換

5. 閉会

※議事進行：湖水街道推進会議事務局 高尾健司

■第1回 風景街道検討委員会 出席者名簿

風景街道検討委員会

氏名	所属・役職	摘要
安部寿鶴子	道の駅本庄企画組合店長	
作野広和	島根大学教育学部准教授	中国風景街道協議会委員
定秀陽介	6 J C 経済文化交流会会長	美保館 専務取締役
佐藤正実	皆生旅館組合事務局長	
村上 享	松江工業高等専門学校数理科学科准教授	
吉岡晴彦	国土交通省松江国道事務所副所長	
神宮祥司	国土交通省倉吉河川国道事務所副所長	欠席
川西武則	島根県土木部高速道路推進課課長	
山本 晃	鳥取県県土整備部道路企画課課長	代理出席：高野賀丘里

アドバイザー

氏名	所属・役職	摘要
森田喜久雄	島根県教育庁古代文化センター専門学芸員	

湖水街道推進会議役員会

氏名	所属・役職	摘要
三代隆司	島根県ウォーキング協会事務局長	座長
勝部祐治	(株) エブリプラン専務取締役	副座長
影山邦人	NPO歴史文化ネットワークもくもく理事長	幹事
遠田 順	松江商工会議所観光振興部部長	事務局長
高尾健司	松江商工会議所観光振興課課長	事務局
意東恵美子	松江商工会議所観光振興課	事務局
沢和 毅	(株) エブリプラン地域環境計画課主任	事務局

湖水街道推進会議パートナーシップ

氏名	所属・役職	摘要
山本活稔	国土交通省松江国道事務所調査設計課係長	
石田弘至	島根県高速道路推進課道路企画調査グループGL	
糸原 保	島根県高速道路推進課道路企画調査グループ企画員	

計20名

■委員会議事要約

(1) これまでの湖水街道推進会議の活動について

発言者	発言内容
安部委員	道の駅本庄への「風景街道」の道路看板の設置には喜んでおり、最近ではその看板を見て風景を楽しむ人の需要が増えてきた。 道の駅本庄としても、今後湖水街道推進会議と連携して様々な活動に取り組んでいきたい。
定秀委員	通り名で道案内等、これまでにいろいろな活動において湖水街道推進会議にはお世話になり感謝している。今後は、「神仏の通ひ路」のルート上に住む人々に対する更なる意識付けが重要と考えている。
佐藤委員	湖水街道推進会議の活動については、島根県では活発に行われているものの、鳥取県側ではまだ冷めている状況であると感じている。鳥取県側は「大山パークウェイ」を売り出している状況で、「神仏の通ひ路」として売り出していない感が否めない。 皆生温泉の利用者は、そのほとんどが島根県への観光を行っているので、両県でもっと情報発信を強化していく必要があると思う。
川西委員	「神仏の通ひ路」の道路看板の整備など、島根県土木部では、「みち」を通じた観光振興への貢献を目指して、様々な事業に取り組んでいるところである。今後、このような活動をいかに持続的に取り組んでいけるかを考えていく必要がある。
高野委員 (山本委員代理)	鳥取県として、湖水街道推進会議とどのように関わっていくべきかをこの委員会で学ばせていただきたい。
吉岡委員	国として道路の質をより高めながら、さらに風景や景観などの付加価値をつけながら、魅力あるルートを目指したい。さらに風景街道の取り組みの継続に向けて尽力していきたい。
森田アドバイザー	我々「学芸員」という立場は、いろいろな業種とコラボレーションできるという長所があると思っている。島根県の古事記編纂1300年祭の主となる商工部所、風景街道の取り組みの主となる土木部所とのつながりを強化し、そこに学芸員としていかに入り込めるかを考えていきたい。
作野委員長	「みち」を介して様々な人があつまり活動するという「新しい公」に素晴らしさがあると感じている。しかしながら、鳥取県と島根県にはそれぞれに良さがあるものの、年々行政間の壁が厚いと感じている。活動を活発に展開していくためには双方の連携が重要。活動を活発にしていこうとすることでその地域に住む人々が幸せになっていく。

(2) 心の旅先・神在りの国：出雲神話周遊ルート及びガイドブックについて

発言者	発言内容
森田アドバイザー	<p>■ルートについて</p> <p>ルートについては参加者に非常に好評であると感じている。しかし、商品としてはマニアックな内容となっているため、ターゲットを誰に設定するかを明確にしておく必要がある。</p> <p>■ガイドブックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字情報が多すぎる。一般の人が全てを読んでもくれるか不安である。見出し、ページ構成、文章配置等をターゲットを明確にしたうえで再検討すべき。 ・スサノオについての文章は何を語りたいのか。タイトルに「八蛇の大蛇退治」と素直に書いた方がよい。 ・神話アドバイザー等の育成のための教材としては素晴らしいと思うが、一般向けに発行するのであればもう一度見直してほしい。
影山幹事	ターゲットを明確にしておもしろいルートを設定していきたい。
定秀委員	国譲りの話については、コトシロヌシも重要な人物なのでその記述を追加してほしい。大黒様を冠したイベントや事業も展開しているので、ぜひお願いしたい。
佐藤委員	鳥取県観光協会では「再生神話」(人生のリセット)を目玉にしている。ガイドブックについては、自己満足な内容になっていないかをもう一度精査し、なるべく簡潔に古事記のふるさとであり日本発祥の地と言うのがわかるような内容にしていきたい。
安部委員	<p>従来のガイドブックは車で来訪される方からすると分かりにくいガイドブックである。新たに作られるガイドブックについてはそれが改善されているように見える。</p> <p>マップコードの記載も良いが、道の駅で良く聞かれるのは目的地の電話番号であり、その電話番号でナビ検索を行う人も多いため、電話番号の併記も有効ではないか。</p>
川西委員	島根県に車で来訪する観光客は88%で、その中で県外者は7割を占める。わかりやすい道しるべとして活用できるように、道路情報を追加してほしい。
作野委員長	有名な社寺・スポットは道路標識等がありわかりやすいが、マイナーな社寺・スポットとなると行きにくい。マイナーな場所へも行きやすくして、行けば興味が持ってもらえるようにすべき。

(2) 心の旅先・神在りの国：出雲神話周遊ルート及びガイドブックについて（続き）

発言者	発言内容
森田委員	ガイドブックをもらっても、どうやって周ってよいかわからないからある程度のルート設定は必要である。しかし、人間はわがままで、あまりルートを設定して誘導しすぎると面倒臭いと感じてしまう。文章が多いと押しつけに思われてしまうので、イラストなどを多用して、各人物（スサノオ）がどんな人物なのか、納得できるように「人物紹介」を行いそれにストーリーを重ねるような形が良いのではないかな。 読み手がそそる書き方、強制されない形で現地へいざない、そこで感動・してもらおうことが重要。
村上委員	ターゲットを誰でもと言うことであれば、見やすく改善すべき。ページを増やしても良いので見やすさを意識すべき。 ホームページの活用も有効であると思う。 島根県への観光は1泊2日が多い。各ルートがどの程度の時間でどのくらいの距離があるかわかるようにすべき
吉岡委員	国道、県道、市町道など、道路の位置づけをわかるようにしてほしい。その上で、ルート上のどこに何があるのかをわかりやすくしてほしい。キャラクターやイラストを活用してわかりやすくすべき。
森田アドバイザー	風景街道パンフレットは素晴らしい出来であると思う。ガイドブックも風景街道パンフレットのように作成すべきである。 もらった側も得した気分になるような残せるガイドブックを作成すべき。

(3) 湖水街道推進会議の今後の活動について

発言者	発言内容
定秀委員	青年会議所でも、PRによる集客に苦勞していたが、ケーブルテレビを活用したPRを行い、効果的であることがわかった。まずは、県内から情報を発信していくのも良いのではないかな。
安部委員	道の駅は情報発信の場として機能している。最近では県外から情報提供をしたいとの依頼もあるが、近隣の情報提供を優先していきたいと考えている。街道カフェも道の駅や周辺企業と協力して行なえば良いと思う。
佐藤委員	我々にもできることがある。神仏の通ひ路パンフレットなど配布には協力していく。
村上委員	活動を評価していく中で、活動規模が不明確な部分がある。 街道カフェについてはいろいろな所からのタイアップで赤字を減らしていくべき。
吉岡委員	街道カフェはいつどこで行っているのか、これまで知らないことが多かった。もっとPRを強化すべき。